

いくさか 議会だより

令和7年3月定例会号

No.

169

令和7年(2025)
4月24日 発行

委員会報告…………… 4-7P

一般質問…………… 8-12P

令和7年度
一般会計予算

36億200万円可決

脱炭素化推進事業、やまなみ荘改修工事、子ども・子育て支援事業



12月定例会の流れ

11日 開会
本会議

12日
一般質問

13日・14日・17日
常任委員会

21日 閉会
本会議

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和7年3月定例会 審議した議案との結果		審議結果	島幸恵	山本吉人	藤澤幸恵	望月典子	字引文威	平田勝章	吉澤弘迪	太田 譲
報告	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第8号】(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
事件案	生坂村過疎地域持続的発展計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	村営土地改良事業計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村中山間地域特別農業農村対策事業施設(大日向農産物直売所)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村山清路の郷資料館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
条例案	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	基金の管理の変更に伴う関係条例の整理に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
予算案	令和7年度生坂村一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村営バス特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村福祉センター特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和7年度生坂村簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
請願	令和7年度生坂村下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	県立木曽病院での分娩休止の撤回及び麻酔科医・産科医の確保を求める請願	不採択	×	○	×	×	○	○	○	※
陳情	持続可能な学校の実現をめざす意見書採択を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
追加議案	生坂村企業版ふるさと納税基金条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第9号】	可決	×	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村営バス特別会計補正予算【第3号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第3号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第4号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村後期高齢者医療特別会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第3号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
発議	令和6年度生坂村下水道事業会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	持続可能な学校の実現をめざす意見書の提出について	提出	○	○	○	○	○	○	○	※

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和7年1月臨時会 審議した議案との結果		審議結果	島幸恵	山本吉人	藤澤幸恵	望月典子	字引文威	平田勝章	吉澤弘迪	太田 譲
補正予算	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第7号】	承認	○	○	○	○	○	○	○	※

6年度補正予算の内容(主な収支)

■一般会計 〈補正額〉△1億8,144万円 〈総額〉32億6,500万円

※数値は四捨五入

歳入	補正額(歳入)	総額
村税	605万円	1億5,022万円
地方譲与税	9万円	2,493万円
地方消費税交付金	7万円	3,927万円
地方交付税	6,536万円	13億1,237万円
分担金及び負担金	△23万円	2,293万円
使用料及び手数料	△238万円	1億2,187万円
国庫支出金	△1億3,162万円	7億6,845万円
県支出金	△99万円	1億2,860万円
財産収入	58万円	2,695万円
繰入金	△8,977万円	1億4,273万円
諸収入	70万円	5,503万円
村債	△2,930万円	3億8,281万円

歳出	補正額(歳出)	補正後の額(歳出)
議会費	△12万円	4,822万円
総務費	△1,758万円	7億5,150万円
民生費	△749万円	4億6,690万円
衛生費	△1億2,386万円	9億1,046万円
農林水産業費	△838万円	2億7,712万円
商工費	△191万円	5,665万円
土木費	△95万円	2億0,652万円
消防費	△251万円	7,705万円
教育費	△926万円	1億8,327万円
災害復旧費	△263万円	720万円
公債費	△675万円	2億7,813万円
予備費		200万円

就労センター管理業務 431万円、
福祉センター繰入金 324万円 ほか

鳥獣被害防止柵設置事業(繰越) 988万円 ほか

特別会計	補正額	総額
村営バス特別会計	△175万円	4,763万円
福祉センター特別会計	△230万円	1億1,803万円
国民健康保険特別会計	△7,202万円	1億7,926万円
介護保険特別会計	167万円	3億3,165万円
後期高齢者医療特別会計	△107万円	3,313万円

広域・一部事務組合の情報

松本広域連合

(松本・塩尻・安曇野・東筑の消防と介護事務など)

- 令和7年度予算
一般会計 5,163,230千円
特別会計 24,370千円

安曇野松筑広域環境施設組合

豊科葬祭センター

- 令和7年度予算
一般会計 103,704千円

穂高広域施設組合(穂高クリーンセンター)

(安曇野市・池田町・松川村・麻績村・生坂村・筑北村)

- 令和7年度予算
一般会計 1,014,164千円

松塩筑木曽老人施設組合

(松本・塩尻・東筑・木曽)

- 令和7年度予算
一般会計 4,400,000千円

総務建経常任委員会

連合審査報告

生坂村過疎地域持続的発展計画
の変更について

(質疑なし)

村営土地改良事業計画について

問 万平地区土地改良事業計画で新しいふどう園の就農者の対応は。

答 農業公社で3年技術技能習得した新規就農者の方を予定している。

問 農業用水のポンプ施設の改修もするとのことだが、その場合受益者負担は増えるのか。

答 受益者負担は増える可能性がある。



生坂村中山間地域特別農業農村対策事業施設（大日向農産物直売所）の指定管理者の指定について

問 指定管理者の役割は。施設の維持管理等が主になる。

生坂村山清路の郷資料館の指定管理者の指定について

問 生坂村山清路の郷資料館の利用はどれくらいあるのか。

答 週末はキャンプ場など村外の方の利用が多数いる。



職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案

問 会計年度職員も対象になるのか。

答 この条例に関しては対象者にはならない。

生坂村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

(質疑なし)

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案

(質疑なし)

基金の管理の変更に伴う関係条例の整理に関する条例案

問 有価証券等取扱う場合はリスクを伴うがその点は大丈夫なのか。

答 これまで国が保証している物を運用している。これからの基金の管理方法については慎重に管理していく。



生坂村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案

問 消防団員ではない一般の人は対象になるのか。

答 一般の人も公務災害補償の対象になる。

生坂村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案

問 機能別消防団員も対象になるのか。

答 対象者にはならない。

令和7年度生坂村一般会計予算

総務課関係

地域活性化対策事業では、脱炭素地域づくり推進事業でやまなみ荘省エネ機器導入事業、民家断熱改修補助金などを新たに加え、10億5464万円

問 生坂ダム小水力発電の工事詳細は。

答 河線管理者との協議調整が終わり次第正式な工事内容ができる。

問 生坂ダム小水力発電で洪水等が発生した場合の対応は考えているか。

答 遠隔操作等対応は考えている。

問 小水力発電の耐久年数はどのくらいか。

答 50年（半世紀）以上はある。

問 やまなみ荘の脱炭素事業関係の省エネ機器導入工事内容は。

答 やまなみ荘の照明のLED化、冷暖房設備、給湯設備になる。



問 二酸化炭素削減の効果促進事業をもっとやって貰いたい。

答 松本山雅等を活用し効果促進事業をしていく。



振興課関係

産業振興事業では県営中山間総合整備事業負担金等、農業振興事業で1億3974万円。畑作等促進整備事業等、農地解消対策費で4481万円。森林整備区域抽出業務を加えた里山整備事業で1208万円。

問 農業機械整備事業債で購入予定のハンマーナイフモアは今までのものよりだいぶ小型になるが、性能等大丈夫なのか。

答 コンパクトで取り扱いやすく高性能なものを予定している。

意見 森林整備業務に関しては議会が提出した附帯内容を守って森林整備をしてもらいたい。



① 山林の伐採にあたっては山林の土砂崩落等、災害発生に留意すること。

② 住民の水道の水源等、支障のないよう配慮すること。

③ 希少動物の生息等に配慮し景観と自然保護に留意すること。

④ 住民の家屋など生活関連施設への被害防止に留意すること。

⑤ 登山道などを破壊しないように留意すること。

⑥ 木材の伐採と山林整備にあたっては該当区域の住民と事前に計画の説明と話し合いを実施すること。



令和7年度生坂村営バス特別会計予算

歳入歳出予算の総額を5450万円とする予算で、前年度と比較して

650万円の増。

問 賃借料の中にEVバスのリース代が入っているのか。

答 入っている。



令和7年度生坂村簡易水道事業会計予算

収益的収入及び支出の収入は7197万円、支出は7689万円と定め、資本的収入及び支出の収入は5996万円、支出は6511万円と定める。

問 受水費の見直しは何年毎か。

答 5年毎に見直しを行う。

令和7年度生坂村下水道事業会計予算

収益的収入及び支出の収入は1億946万円、支出は7830万円と定め、資本的収入及び支出の収入は443万円、支出は5530万円と定める。

（質疑なし）

社会文教常任委員会

連合審査報告

生坂村特別職の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について

・公立の学校医で整形外科医が指定されていなかったたので追加し、報酬額の根拠とするもの

問 現在整形外科医の報酬は2万円だが、条例改正により4万円になる。その金額の根拠は。

答 医師会から報酬引き上げの要望があった。児童生徒数により報酬額が変わるため、生坂村は低い方である。

令和7年度生坂村一般会計予算について

教育委員会関係

・保育園環境整備事業、子ども家庭センターの開設、子ども子育て応援ギフトなど、子ども・子育て事業で7940万円

・小中学校へのタブレット整備、中学校部活指導員の任用、小中一貫教育ikusaka学の推進など学校教育事業で2985万円

問 保育園遊具の修繕計画があるが、数年前に新しくしたのでは。

答 以前更新しなかった雲梯などの修繕。シーソーは大規模な修繕または撤去更新という判定が出たが、修繕で対応できる。



問 子ども家庭センター設置に伴う事務室の改修工事は、いつから行うのか。びよびよ広場利用に影響はあるか。

答 工事は4月下旬から2週間程度。びよびよ広場は工事中でも利用でき、影響はない。

問 子ども家庭センター設置により、人員が増えすぎないか。

答 新規に採用するのは社会福祉士一名のみ。他は現職員が兼務で対応するので、増えすぎることはない。

問 子どもや若者の意見を聞く座談会が計画されている。いつ頃何回ぐらい開くのか。

答 具体的には決まっていないが、回数は1、2回くらい。

問 中学校の部活動を地域に移行するため、休日の指導員が確保される。部活に入っていない生徒にも、何か支援がないと不公平では。

答 公平性が第一なので、来年度協議し、検討する。

問 ikusaka学に専門的意見を入れ、より深く学べるようコーディネーターが採用される。コミュニケーションスクールとも連携ができないか。

答 要望すれば連携は可能。

問 来年度、学校給食に有機米を提供してくださる方がいる。現在給食に米を提供している農業公社と同じ1kgあたり240円では安すぎるのでは。

答 農業公社と同じ価格でよければ是非提供してください、と話をしている。

健康福祉課関係

・在宅での生活支援等サービス事業で1281万円

・新規に高齢者带状疱疹ワクチン接種を加えた保健衛生事業で

597万円

・妊婦のための支援給付事業を新たに加えた保健衛生・扶助関係で1118万円

問 高齢者の緊急通報装置はどのくらい利用されているか。

答 現在3件、昨年は2件。

問 はるかぜのお風呂を利用してもらう計画がある。運営方法は。

答 毎週水曜日の半日を使って、お風呂を利用してもらう予定。送迎については社会福祉協議会と調整中だが、できるだけ要望にこたえたい。



問 生坂敬老の日に出席できない人にも何か対応できないか。

答 コロナが流行時は商品券を配布したが、現在は村でお祝いする形に戻しているのでご理解いただ

きたい。

住民課関係

・福祉センターやまなみ荘改修工事、社会福祉協議会補助の拡充など社会福祉事業で1億2406万円

問 村民税が800万円ほど増えている理由は。

答 主には定額減税が終了したため。

問 マイナンバーカード所持率は、また、5年目の更新方法は。

答 所持率は2月時点で86.36%県内22番目。5年目は暗証番号の変更で、役場に来ていただき手続きをする必要がある。

令和7年度生坂村福祉センター特別会計予算について



・歳入歳出の総額を1億720万円とする予算で、前年度と比較して540万円の減

問 やまなみ荘改修のため、2か月半休館になる予定。経営を圧迫することが考えられるので、工事期間を短くする、全館休館せず工事をする、などの方法は考えられないか。

答 なるべく休館しないように、休館中の従業員の方の処遇もあわせてしっかりと考えていく。

問 お風呂のお湯は、チップボイラー設置後はチップを燃やして沸かす。予算計上されている燃料費はチップのものか。

答 ボイラー使用開始は改修工事後になるため、今までと同じLPGガスの価格を計上している。

問 ラフティングは新規に行うものか。どこで行うのか。

答 以前行っていた体験型のイベントを再開するもので、明科の木戸橋から乗る。

令和7年度生坂村国民健康保険特別会計予算について

・歳入歳出の総額を2億4850万円とする予算で、前年度と比較して280万円の減

問 所謂年収の壁が引き上げられ

ると、保険税に影響するか。

答 引き上げられれば影響はある。

令和7年度生坂村介護保険特別会計予算について

・歳入歳出の総額を2億7880万円とする予算で、前年度と比較して840万円の減

問 後期高齢者が今後爆発的に増えるのではないか。

答 お亡くなりになる方もいて、全体的には減少傾向。

令和7年度生坂村後期高齢者医療特別会計予算について

・歳入歳出の総額を2億7880万円とする予算で、前年度と比較して840万円の減

問 人間ドック補助増額の理由は。

答 後期高齢者になって人間ドックを受ける方が増えている。今年



度の実績も併せ、増額して計上している。

請願

県立木曽病院での分娩休止の撤回及び麻酔科医・産科医の確保を求める請願書について

・木曽地域にたった1人しかいない麻酔科医が令和8年からはなくなり、分娩休止となる見込みである。地域の医療を守るため、麻酔科医・産科医の確保と、分娩継続を求める請願

議員から請願者の生坂村女性の会に対し、請願提出決定までの期間が短いなど、提出の仕方について介入があり、不採択と決定。

陳情

「持続可能な学校の実現を目指す意見書」採択を求める陳情書について

・忙しすぎる教職員の働き方改革を推進し、具体的な施策の実行を求める陳情
趣旨に賛同して採択すべきと決定。

一般質問

3月
定例会

村政そこが知りたい!!



7名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

9P〔上〕

ひろみち
吉澤弘迪 議員

- 生坂村社会福祉協議会の経営の支援について

9P〔下〕

さちえ
藤澤幸恵 議員

- 生坂村職員の働き方について

10P〔上〕

よしと
山本吉人 議員

- チャレンジできる村、チャレンジする村「生坂村」にしていこう

10P〔下〕

かつあき
平田勝章 議員

- 冬の地震時における避難所対策について

11P〔上〕

ゆきえ
島 幸恵 議員

- 予算編成について
- 住み続けたい村とは
- 脱炭素事業について

11P〔下〕

のりこ
望月典子 議員

- 村民の有事の際の連絡先の取扱い等について
- 要支援者への対応について

12P〔上〕

ゆする
太田 譲 議員

- 魅力ある村に向けて

QRコードを読み込むと
一般質問が見られます



傍聴もできますので、
お越し下さい。



吉澤弘迪議員

社会福祉協議会の経営と
今後の支援について
村長 今後国・県に介護福祉事業の
経営支援の要望を行いたい



問 生坂村社協の令和6年度の経営状況は。

健康福祉課長 介護保険事業の利用者減少で、物価高、最低賃金引き上げで事業赤字が700万程となる。

問 令和6年度決算見込みは。

健康福祉課長 当期資金収支差額が△614万6千円で、前年度に比較し224万円赤字が減少した。

問 経営改善の取組について。

健康福祉課長 介護保険は、給付費の3/4が村外業者に支払われているので通所介護、訪問介護サービスの利用「はるかぜ」の利用により村内でのサービス利用を増やす。

問 今後の社協への経営支援策として、賛助会員の会費一口金額3千円を5千円に増額、特別会員の会費一口金額を1万円から2万円に増額しては。

副村長 賛助会費・特別会費は13年間改定してないので必要かどうか社協の理事会で検討する。

問 受託料の概算払い対応できるか。

副村長 令和6年12月に社会就労

センター管理料の概算払い、受託料は毎月払いを実施した。令和7年度も同様に支払いを予定している。

問 社協への補助金の増額を提案する。

副村長 社協への補助金は、令和7年度予算で公益法人運営費補助金を100万円増額して400万円に、福祉活動専門員補助金は964万円を計上している。

問 広域組合の介護施設の経営悪化、東筑摩郡各村の社協の経営悪化が見られる。国・県に介護福祉事業の経営支援を要請することが必要と考えるが。

村長 長野県町村会が厚生労働省に医療福祉人材の確保の要望書を提出、また長野県に介護福祉の充実について要望を行った。毎年、要望で、成果があるので引き続き介護福祉事業経営支援につながるように国・県に要望を行いたい。



藤澤幸恵議員

職員の離職防止対策は
村長 一次予防を目的とした
ストレスチェックを行う



村職員の一人当たりの担当業務が増大し、余裕がなく疲弊している様子が伺える。全国的にもメンタルダウンする職員の増加が問題となっている。村職員が「働きやすさ」だけでなく「働きがい」を持つことができるかが重要。

問 ここ5年間の村職員の離職の要因は。

総務課長 自己都合によるもの。それぞれ個々に事情は違い、「役場の仕事がいまいち描いていたものと違った。」というもの。採用1年以内の離職者が4名いた。

問 職員離職防止の取り組みに取組んでいる施策や、今後の課題について村の方針は。

村長 職員の採用試験に村内出身者の応募がほとんどないこともあわせて考える必要があると感じる。職員に何か変わったことがあれば、副村長を中心に課長や係長、場合によっては保健師にも関わってもらっている。

全職員を対象にメンタルヘルス研修、ハラスメント研修を行っている。

新年度は、一次予防を目的としたストレスチェックを行うための経費を予算計上して対応する。

問 働き方改革として、フレックスタイム制、時間差出勤、テレワークなどを取り入れていくことは出来ないか。

村長 宿直をシルバーにお願いして職員の負担を減らしている。いろいろな働き方ができる時代になっている、今後研究をしていく。

問 若者に職場体験などは考えられるか。

総務課長 以前に中学生が職場体験をした。またそのような機会がもうけられたらよいと思う。村の理解や、役場の仕事にも理解が繋がって村の職員になりたいと思う子が一人でも出てくればよいと思う。



山本吉人議員

チャレンジできる村、チャレンジする村
「生坂村」について

村長 チャレンジする村の若者、地域村おこし
協力隊の区別なく村としても支援していきたい



問 生坂村の竹等を使っていかだを作りそのいかだで犀川下りレースを企画する。全国的にも少ないイベントであり、また生坂村に住んでいるからこそ出来ることを子供達が、若者達が体験することは大いに意義があり観光などの集客増も考えられる。

いかだ下りは可能か。

振興課長 村内の竹を使いたいからだで、穏やかな犀川の川下りはゆっくりにした時間を過ごすのには良いと思う。しかし、いかだの作り方、開催時期、安全性など検討課題が多くある。議員の調査している情報等あれば、それらを踏まえ検討していきたい。

問 休耕地の畑など村内、村外の方に利用してもらう市民農園的な活用はできないのか。(都市圏からも週末野菜づくりで村に訪れる人が増えるかもしれない。第二のふるさとプロジェクトにも繋がりが、効果があると考ええる。)

振興課長 市民農園は、農地の貸し手と受け手のマッチングをどの

ように行えば良いかなど研究が必要であり、管理等課題が多くある。課題を考えながら検討していきたい。

問 若者が夢に向かってチャレンジする勇気を出せる村の環境づくりの機関を作るべきと考えるが。(夢をどう実現していけばいいのか、わからないまま、歳を取ってしまふことのないようサポートする機関が必要)

村長 村内の若者の夢に向けて、本年度から生坂村各種競技会及び発表会出場者激励金交付要綱を設け、スポーツ大会や芸術活動の成果を発表する会に出場した村民に対し激励をしている。個人のチャレンジは千差万別であり、村民個人への支援を行う機関を作ることには難しいと考えるが、熱意を持ち、自らチャレンジしている方に対しては、村の若者、地域おこし協力隊の区別なく村としても支援をしていきたい。



平田勝章議員

冬の避難所対策について

総務課長 必要な暖房器具及び備蓄品は
随時追加し保管している



昨年1月発生の能登半島大地震の反省点についての報告で暖房器具などの冬季用設備が必要とあるが、この自治体でも十分な用意はできていないのが実態。

問 大きな避難所を設けた場合、種々の暖房器具の用意と必要な備蓄内容や数量、保管場所は決まっているか。

総務課長 寒さ対策となる備蓄品は、毛布・使い捨てカイロ・ストーブなどを村の防災倉庫に保有している。各区の防災倉庫にも毛布などは保管し、数量は予算の範囲内で随時追加をしている。暖房器具は村や小学校にある大型のストーブの他、各家庭で使用しているストーブなどの活用もお願いすることになる。布団や毛布なども被災状況によるが、住民の皆さんにお願いすることと想定される。

長野県では、能登半島地震を教訓に、長野県地震防災対策強化アクションプランを作成、県内の備蓄体制の充実強化のため、県と市町村で備蓄の考え方について協議し、基本的な方向性がまとめられている。

問 障害のある人や高齢者が避難した場合の対応は。

総務課長 障がいのある方や高齢者を含めた避難所での対応は、個々に事情が違ってお

り、対応も異なるため慎重に行う必要がある。村の防災計画では、デイサービスセンター、高齢者生活福祉センター、はるかぜを福祉避難所として指定している。

施設を運営している社会福祉協議会では、県社会福祉協議会や地域ブロックの福祉避難所の立ち上げ研修会に参加し、村社協独自に業務継続(BCP)に係る訓練も実施している。

問 被災者となった場合の確認名簿は更新されているか。

総務課長 災害対策基本法第90条の3第1項に、市町村長は、被災者の援護を実施するための基礎とする台帳「被災者台帳」を作成することができる。と定めている。災害時の迅速な対応が出来るよう台帳作成に努めている。

問 避難所では女性に配慮した対策はできているか。

総務課長 村の総合防災訓練では、保育士も含め全ての職員が避難所運営にあたるよう地域の避難所で訓練に参加している。村内で女性の避難所運営スタッフを確保していくには、女性の皆さんにも防災士の資格を取得して理解していただくことも一つの方法と考え、資格取得に向けた啓発に努めている。



島幸恵議員

予算編成に住民の声や、議会の検討結果を反映させることへの考えは
村長 ご意見やご要望を検討し、反映できるものは予算に反映している



問 当初予算案を示す前に、住民と予算公開検討会をもつこと、予算編成方針・予算編成過程などを公開することについての考えは。

村長 「新年度当初予算編成会議」内容の公開を検討したい。予算編成過程の公開は、職員の負担が大きくなるため考えていない。

意見 予算編成前にもっと当事者住民の意見を聞くことで、予算が更に有効活用されたり、職員負担が軽減されたりするのでは。議会から要望することも大切と考える。

問 常会や地域のお祭りなど紹介するチラシや案内ができないか。常会に入つてよかったという声を載せると、入会への理解が進むのでは。

総務課長 事例を参考にしたい。

問 区によって公民館修繕費の考え方が違う。条例や公共施設管理計画に、各区の公民館は村の公共施設とあり、村のものと考えられるが。

総務課長 建設時に地元との協議が行われ、地元負担金や維持管理については施設ごとに違っている。

意見 各区公民館に太陽光発電設備

設置が進み、長期間契約になる。修繕も含め村が責任を持つべきでは。

問 各区の除雪機は活用されているか。既定の積雪量になつたら、住民から直接請負業者に除雪要請できるホットライン等ができないか。

振興課長 住民の協力の下、各区の除雪機で除雪を行っている。ホットライン等は現在考えていない。

問 奨学金貸与申請時に世帯年収等要件をはつきり示せば、選考委員会は不要では。また、各種競技会及び発表会出場者激励金交付要綱で、頑張った子なるべく激励してほしい。
教育次長 複数の委員の意見で公平性や透明性が確保できる。大会は数が多く、すべてを対象にできない。

問 村が実施する脱炭素事業費から交付金を引き、過疎債を充て補填されない差額は、いくさかてらすが設備使用料として村に支払つか。また、村からの持ち出しはないか。

村長 管理規定や費用の詳細については、村と細かいさかてらすで協議をし決定する。村から持ち出しはない。



望月典子議員

有事の際の連絡先の取り扱い、要支援者の対応について
村長 連絡先は社協、健康福祉課で保管しており、現在「個別避難計画」の作成を進めている。



問 民生委員によって始められた全世帯の連絡先の聞き取り調査の進捗状況は。

健康福祉課長 現在460世帯分の情報を保管している。完了予定は現時点では未定。

問 調査開始から1年以上が経過している。まだ聞き取りにきていないという不安げな住民の声もある。今後の対応は。

健康福祉課長 保健師、高齢見守り隊の訪問記録、介護認定調査の記録等の個人ファイルを活用するよう考えている。まだ周っていない所は民生委員と相談して対処したい。

問 今回の聞き取り調査の結果を役場と共有管理することはどうか。民生委員と健康福祉課だけでは不安を感じるが。

健康福祉課長 平常時は健康福祉課で保管し、災害時に本人の同意を得ることが困難な場合は規定により村役場職員、消防団員、警察等第三者の各部署と共有する。

問 災害時に一人では避難できない高齢者や障害者の支援は地域で考え

なければならぬ問題とは思つが、専門部署としての考えは。

村長 令和3年の災害対策基本法の改正で要支援者について個別避難計画（以下計画）を作成することが市町村の努力義務とされた。「誰が支援して」「何処に避難するか」「非難する時どんな配慮が必要か」などを記載した計画だが、作成には避難行動支援者の同意を得なければならぬ。村は今年度1件の作成を行なった。11月に民生委員が新体制となるタイミングで民生委員を交えて作成を進めたい。

問 障害者権利条約批准にこめられた精神として「私たちの事を私たち抜きで決めないで」というものがある。この思いを大切にして計画を作成し、事前の訓練もしてはどうか。

村長 当事者、支援者、担当者等としっかり話し合いが出来れば計画は確かなものになるし、プラス事前訓練をすれば有事の際の役に立つと思う。そのような方向性で民生委員を交えて出来るか検討したい。



太田 譲 議員

今いる村民が楽しく
魅力を実感できる計画を
村長 皆さんと協議しながら検討する



問 第6次総合計画作成に伴う村民

アンケート内の「どんな村になってほしいか」について、小中学生のトップ5は・自然や緑が多い村・便利で快適な暮らしができる村・観光レジャーなどがある楽しい村・子育てしている人が暮らしやすい村・事故や災害が少ない安全な村と回答が出ている。自然保全と快適な暮らし、災害対応は脱炭素事業。子育て支援は給食無償化やタブレット導入など他より早く取組み今年度もコードモンの導入など切れ目のない支援をしている。観光とレジャーでアクションを起こせば、これからの生坂村を引っ張って行ってくれる若者が理想とする村に近づくと考える。これらを担う若者と有識者を集い、住み続けたい村・戻ってきたくなる村・行ってみたい村を観光とレジャーの面で進めるための（仮称）「いくさか魅力向上計画」の策定を提案するが。

総務課長

若い方の定住は大きな課題で、特に村に戻ってきていただく・Uターンについては、令和7年度

において新規事業を計上している。住み続けたい・戻ってきたいと思える村にしていくなための計画のご提案であり、計画策定に向けたプロセスにおいて、これから担う村内の若者と有識者による方々から委員会・懇談会のようなところに参加していただくことで、地域おこしの人材育成と村の歴史や現状を理解してもらう良い機会になると思う。村には総合計画をはじめいくつかの計画もあるので、新たな計画が必要か、設置した委員会・懇談会からの提言という形も踏まえ研究していく。



議 会 日 誌

(主なものを掲載)

2月

- 4日 安曇野松塩筑環境施設組合議会定例会(安曇野市)
- 6日 東筑摩郡村議会議員交流会
- 13日 道の駅いくさかの郷定例会
- 17日 松塩筑木曽老人福祉施設組合議会定例会及び全員協議会(塩尻市)
- 19日 児童館・生涯学習施設運営委員会
総合戦略策定審議会
- 21日 北部3ヶ村議員交流会
- 25日 脱炭素事業プロジェクト会議
福祉センター運営委員会
- 26日 安曇野ランド大規模改修工事竣工式典(安曇野市)
穂高広域施設組合議会定例会(安曇野市)
- 27日 議会運営委員会
生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 28日 例月出納検査

3月

- 6日 議会全員協議会
- 11日 3月定例会・開会
- 12日 本会議・一般質問
- 13日 総務建経常任委員会
- 14日 社会文教常任委員会
- 17日 やまなみ荘定例会
総務建経常任委員会
- 18日 小学校卒業式

- 議会全員協議会
- 19日 中学校卒業式
本会議・追加議案
- 21日 本会議・追加議案・閉会
議会全員協議会
- 24日 北アルプス医療センターあづみ病院運営委員会(池田町)
社会福祉協議会理事会
- 25日 保育園卒園式
道の駅いくさかの郷定例会
東筑摩郡村議会議長会総会(松本市)
地域ささえあい推進協議会
- 27日 議会だより編集委員会
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 28日 農業公社評議委員会
例月出納検査
- 31日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
社会福祉協議会評議委員会

4月

- 3日 保育園入園式
- 4日 小学校入学式
中学校入学式
- 11日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 やまなみ荘定例会
- 23日 道の駅いくさかの郷定例会
- 24日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議

4年間を振り返って

家族、友人、周囲の方々の協力と励ましの言葉に助けられ、なんとか4年間議員としていられることが出来ました。ありがとうございました。

藤澤 幸恵

1期目に多くの皆さんと話をさせて頂き、様々な経験したことを私なりにまとめ導き出した答えが「みんなが笑顔になる村づくり」。これを2期目スローガンとしてスタート！勉強・調査研究を行い色んな施策提案が出来ました。任期途中、様々な出来事が発生して、大変苦悩する日々もありましたが、多くの方の支えと励ましにより4年間の任期を迎える事ができました。これからも研鑽を積み「みんなが笑顔になる村づくり」を更に進められるよう頑張りたいと思います。

太田 譲

新型コロナウイルス感染症が治まってから数年が過ぎたが、その後の社会は大きく変わったように思う。当村では脱炭素事業という大きな事業に取り組んでおり、長期に渡る事業であり災害に強いモデル的な村になっていることを願っている。

平田 勝章

アッという間の4年間でした。貴重な体験をいろいろさせていただきました。議員としてどれだけのことが出来たのか、反省の日々ですが、これからは一村民として暮らしやすい明るい村であり続けるための努力をします。

望月 典子



現在新規継続事業の「脱炭素先行地域づくり事業」は、令和3年12月定例会一般質問で国の進めている地球温暖化環境対策について村長に、当村でも積極的なゼロカーボン対策を村の事業に取り込み、「環境に優しい村づくり」を提言しました。村の脱炭素事業については、村長も考えられていたようですが、提言したことが実現に向け「環境に優しい村づくり」が進められていくことを私はうれしく感じております。

字引文威

早いもので議員も任期満了になります。議員の仕事はなってみてわかりました。本当に大変な仕事です。悩み多い日が、続く時もあります。ですが村民の皆さんが安心して暮らせる村づくりのお手伝いができることに誇りを感じる時も多々ありました。議員になれる条件があるとすれば、それは生坂村を愛し、村民を大切に思う真心です。議員を目指している方、「どうぞ勇気を出して」、待っています。

山本 吉人

空き家バンクでたまたま古民家を見つけ、生坂村に移住してきた私が議員を2年もやったなんて！と驚いています。たくさんの方とお行きあいし、お話してきたのは議員になったお陰かとも思い、ありがたい気持ちでいっぱいです。小さな村でも、住む人それぞれの声があります。皆さんの声を寄せていただき、どうしたらもっと住みよい村になるかな、と考えて行動してきました。少しでも議会に興味関心をもっていただけたら幸いです。

島 幸恵

議員とは常識すなわち論理、条理、人道の心を持った人でありたい。

吉澤 弘迪

村民の皆様ありがとうございました



小林 正則さん

草尾区袖山在住

ガラス工房
「玄々舎」主宰

Q 生坂村に移住されたきっかけは？

A 松本市周辺で、住居と仕事場になる所を探していました。予算の関係などもあり今の家に住むことになりました。

Q この村でお子さんの成長されたことについて何か感じることは有れば？

A 隣近所の皆さんによく面倒を見てもらい、とても良かったと思っています。
ただ、児童の数が少ない為学校生活で、窮屈な思いをしたこともあったかもしれません。

Q 何か村に要望することが有ればひと言？

A 先日、娘のワクチンの補助金のこと電話したら「わからない。転出先で聞いて欲しい」と返答されました。転出先などに何回か連絡をして、結果、生坂村から補助金が出るということです。

数年前、要介護の義母を我が家で見ることとなりましたが、電話だけの対応でケアマネージャーが来ることはありませんでした。コロナウイルスが流行していた時期でしたが、このような対応は初めてでとてもいい記憶があります。職員の教育はどうなっているのでしょうか。

Q 議会について期待することは？

A あまり興味が無いので、特にないです。でも、草の根通信は読んでいます。
このアンケートに答えていて興味が出てきたことですが、村議会議員は、日頃どんな活動や勉強をしているのでしょうか。それがわかれば、議会に興味も持てるかもしれないと思いました。

議会改革検討会

当初の協議内容は(1)議会が身近な存在となる施策等(2)模擬議会、(3)議会制度の検討、(4)議会改革推進に向けた研修等、(5)議員報酬などについて検討会を行ってきたが、途中からコロナウイルス感染症が世界を席巻させたことから種々の会議が制限された。3年程が過ぎようやく対面する会議が行われるようになった。特に議会が身近な存在となる施策の内容については地区に出掛けて行き対話することを計画したが、出来なかつた。以外の項目では概ね出来たように思う。議員報酬については55歳以下30万円の特例を設けて1期実施されたが、次回選挙では18万円の議員報酬が一律21万5千円に上げていただいたことは大きな成果だと思う。小さな自治体の議会が成果を出したことの意義は大きいと感じる。

平田勝章

表紙の写真のお願い

議会だよりの表紙の写真は、イベント等で議会編集委員が撮影した写真を許可なく掲載をする場合がありますが、掲載許可のご協力をお願い致します。

編集後記

任期最後の議会だよりとなり、これまでの2年間村民の皆さんに、分かり易い内容を届けられたか正直言つて不安な気持ちです。ですが、今回はもっといいものにしようと編集委員一同一丸となつて議会だよりを作つて来しました。来期はメンバーも変わると思いますが、読み易い議会だよりを作ってもらいたいと思います。

(山本吉人)

編集・発行責任者

議長 太田 譲

編集委員

委員長 藤澤 幸恵

副委員長 宇引 文威

委員 島 幸恵

委員 山本 吉人

委員 平田 勝章